

中学校英語スピーキングテスト 令和6年度実施状況について

令和7年5月22日
グローバル人材育成部

1 実施概要

ESAT-J YEAR 1 (Y1) : 第 1 学年対象			ESAT-J YEAR 2 (Y2) : 第 2 学年対象			ESAT-J YEAR 3 (Y3) : 第 3 学年対象			
	YEAR 1			YEAR 2			YEAR 3		
(1)日程	実施日 : 令和 7 年 2 月10日 (月) から3月17日 (月) まで 予備日 : 令和 7 年 3 月26日 (水) ・27日 (木) ※ やむを得ない事情により受験できなかった生徒対象						実施日 : 令和 6 年11月24日 (日) 予備日 : 令和 6 年12月15日 (日)		
(2)受験人数	67,743人			68,236人			70,741人		
(3)会場	実施日 : 各中学校 予備日 : 都有施設 2 会場						11月24日 : 都立学校 191会場 民間会場 39会場 12月15日 : 都立学校 2会場 民間会場 13会場		

2 ESAT-J出題及び評価

(1) 出題形式及び評価の観点

	YEAR 1		YEAR 2		YEAR 3		評価の観点
Part A	音読	1問	音読	2問	音読	2問	- 音声（発音と強勢、音読するペースや間の取り方などが適切か。） - コミュニケーションの達成度（求められていることに適切に対応しているか。） - 言語使用（語彙や文法、文構造の使用が適切か。） - 音声（発音、話すペースや間の取り方などが適切か。）
Part B	会話	3問	会話	4問	会話	5問	
Part C	イラスト説明	1問	イラスト説明	1問	ナレーション	1問	
Part D	ナレーション	1問	ナレーション	1問	ショートスピーチ	1問	

(2) 各テストの測定範囲と目標とするレベル

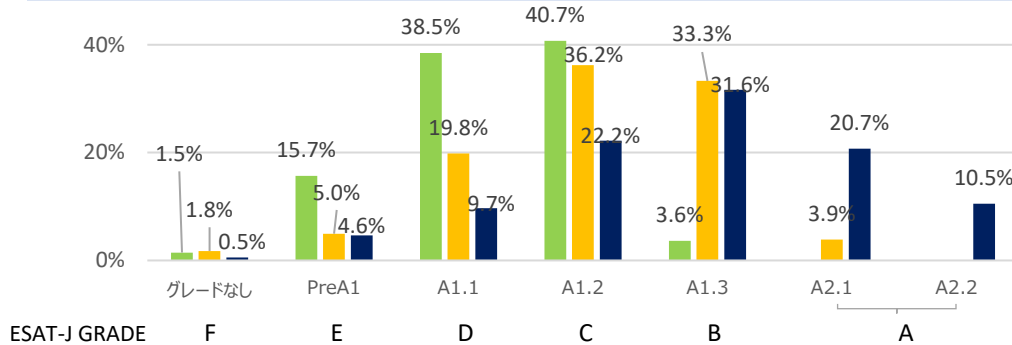
参考CEFR	参考CEFR-J※	YEAR 1	YEAR 2	YEAR 3	ESAT-J GRADE	
A2	A2.2				A	… 測定範囲
	A2.1					
A1	A1.3				B	… 目標とするレベル
	A1.2				C	
	A1.1				D	
Pre A1	Pre A1				E	
					F	

※ CEFR-Jは、外国語能力の参照基準であるCEFRを基に、日本の英語教育での利用を目的に作られた英語能力指標

(3) 評価

YEAR 1 及び YEAR 2	各テストの目標とするレベルに到達しているかどうかを3段階で総合的評価 Excellent! 目標とするレベルを超えている。 Good! 目標とするレベルにある。 You can do it! 目標とするレベルまでもう少し。
YEAR 3	ESAT-J GRADE（6段階評価）で評価

3 令和6年度 YEAR 1 / YEAR 2 / YEAR 3 結果概要



■ 学年が上がるにつれて、CEFR-Jレベルは着実に上昇。

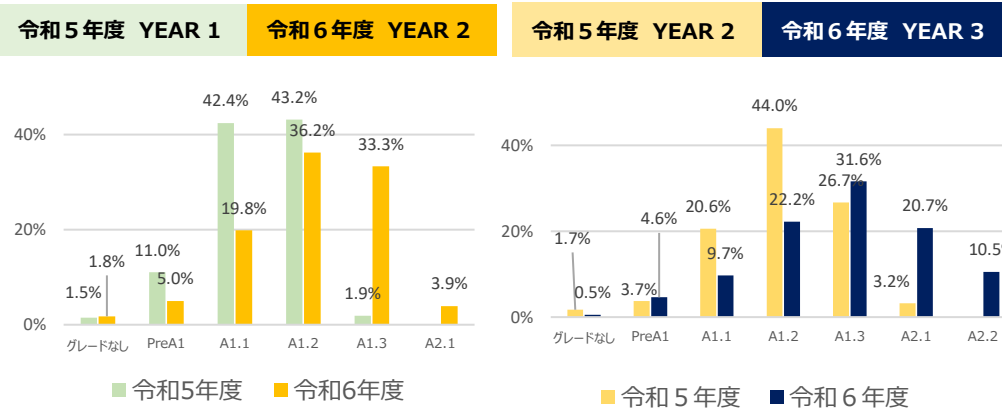
・YEAR 1の最上位のA1.3の割合3.6%に対し、YEAR 2では33.3%となった。

・YEAR 2の最上位のA2.1の割合3.9%に対し、YEAR 3では20.7%に向上し、A2.2も10%超となった。

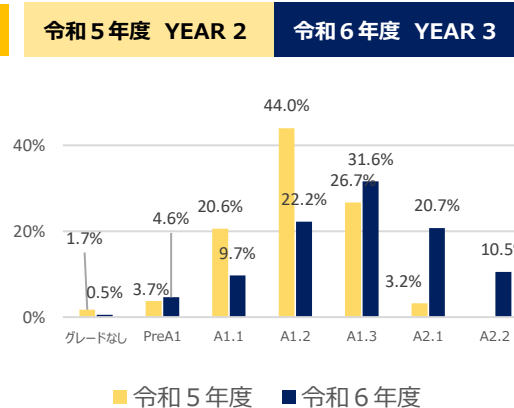
※ 参考CEFR-J レベルは、各学年の測定範囲より高いレベルの場合でも、測定範囲内の一番高いレベルで表示

4 YEAR 1 / YEAR 2 / YEAR 3 経年変化

(図 1)



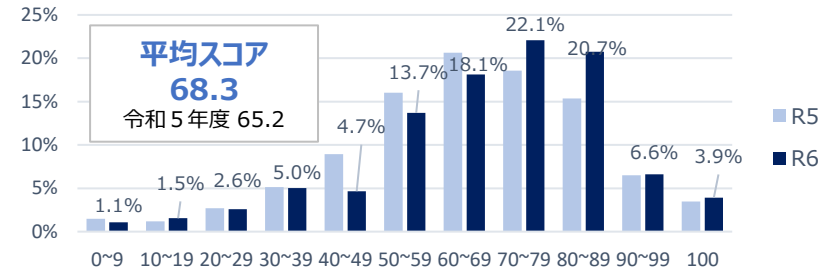
(図 2)



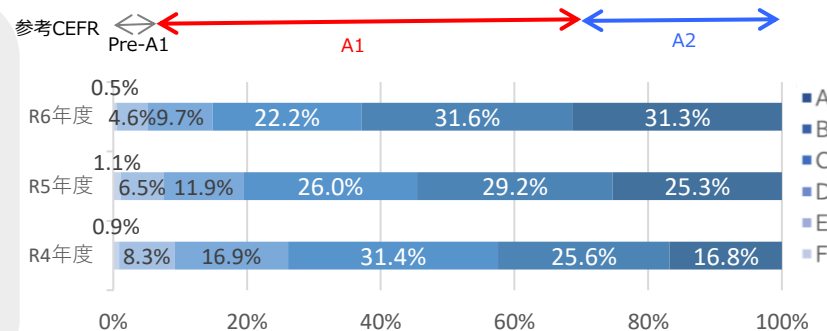
(図 3)

ESAT-J YEAR 3

(1) スコア分布 (令和5年度及び令和6年度)



(2) ESAT-J GRADE 度数分布 (令和4年度から令和6年度まで)



■ 2年生について1年生時の結果と比較すると、**全体の分布はCEFR-Jレベルで1段階程度上昇**。特に、最上位の割合が、1.9%から3.9%に増加。(図 1)

■ 3年生について2年生時の結果と比較すると、**全体の分布はCEFR-Jレベルで1段階程度上昇**。特に、最上位の割合が、3.2%から10.5%に増加。(図 2)

■ 令和6年度の3年生と令和5年度の3年生のスコアを比較すると、70以上の生徒の割合が増加し、**平均スコアも3ポイント以上上昇**。(図 3 (1))

■ 3年生のESAT-J GRADE「B」以上の割合が6割を超え、3割以上の生徒が「A」と評価された。(図 3 (2))

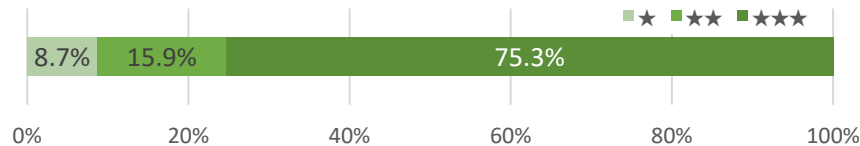
5-1 結果 (ESAT-J YEAR 1)

PART A

出題のねらい▶ 英文を読み上げる形式の問題で、英語音声の特徴を踏まえ音読できる力をみる。

◇問題 聞いている人に意味や内容が伝わるように、英文を声に出して読む。

Hello, everyone. Do you like summer? It's hot, but I like it. I often go to the mountains in summer. The mountains are beautiful in the morning. I take many pictures of them.



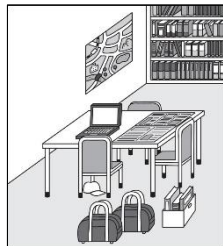
○「★★★」では、個々の語の発音や強勢（ストレス）が分かりやすく、読む速さや間の取り方が適切で、文章の意味を聞き手に十分伝えている解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（意識すべきこと）

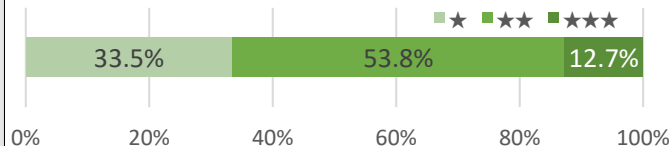
- ・複数の音節から成る語の強勢（ストレス）の位置（例：beautiful, mountainsなど）
- ・/I/を含む語の発音（例：beautifulなど）
- ・音のつながり（例：like itなど）

PART C

出題のねらい▶ 図示された状況を読み取り、説明する力をみる。



◇問題 イラストに描かれた状況について、どこに何が見えるか説明する。



○「★★★」では、5個以上の物の名前と位置を適切に説明している解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

- ・様々な物の位置について、前置詞を用いて、説明する。
- ・前置詞や、物を表す語彙を増やす。

PART B

出題のねらい▶ 図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力や、提示された情報をもとに「質問する」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」など、やり取りする力をみる。

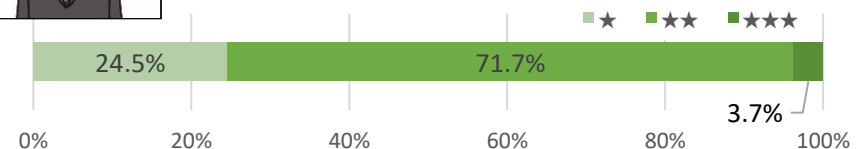


◇質問に解答する問題

- No.1 What time do you have lunch on Sundays?
No.2 What do you usually do after school?

◇質問する問題

- No.3 「好きな歌手」



○「★★★」では、全ての問題に適切に解答しつつ、関連した情報も加えて答えている解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

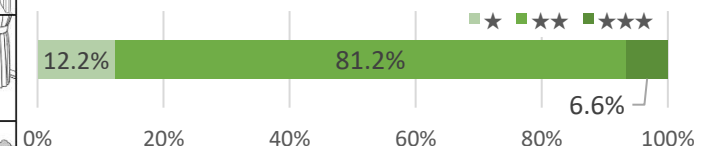
- ・様々な疑問詞を使って、自分や相手のこと、身の回りのことなどについて、やり取りを行う。

PART D

出題のねらい▶ 日常的な行動について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力をみる。



◇問題 毎日の習慣を表す3枚のイラストについて、順番に説明する。



○「★★★」では、andやthenなどを使って、一連の行動の流れを意識しながら、イラスト全てを適切な表現で説明している解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

- ・一連の行動の流れを意識し、適切な接続詞を使う。
- ・語彙を増やし、日常的な行動を表現する。

5-2 結果 (ESAT-J YEAR 2)

PART A

出題のねらい▶ 英文を読み上げる形式の問題で、英語音声の特徴を踏まえ音読できる力をみる。

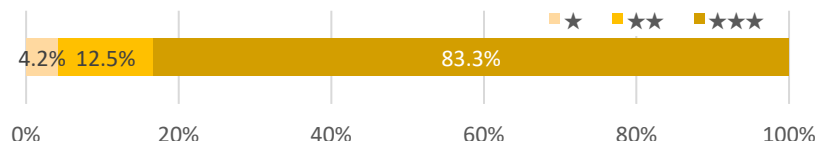
◇問題 聞いている人に意味や内容が伝わるように、英文を声に出して読む。

No.1

Hello, everyone. Do you have a dream? I really want to go to New Zealand. If I go there, I can enjoy the beautiful nature. Also, I want to watch rugby there.

No.2

This is Susan. She is from Canada. She came to Tokyo last week to study Japanese culture. My family will have a party for her tomorrow. We will cook Japanese dishes together. Please join us.



○「★★★」では、個々の語の発音や強勢（ストレス）が分かりやすく、読む速さや間の取り方が適切で、文章の意味を聞き手に十分伝えている解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（意識すべきこと）

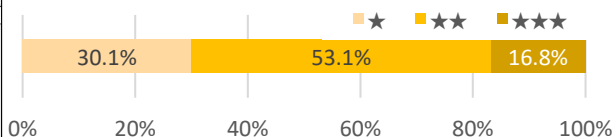
- ・複数の音節から成る語の強勢（ストレス）の位置（例：tomorrowなど）
- ・/r/, /l/を含む語の発音（例：really, also, rugby, cultureなど）
- ・複数形の語尾の発音（例：dishes）・音のつながり（例：have a dream, join usなど）

PART C

出題のねらい▶ 図示された状況を読み取り、説明する力をみる。



◇問題 イラストに描かれた状況について、どこに何があるか、誰が何をしているか説明する。



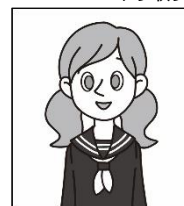
○「★★★」では、5つ以上の物の位置や人物の行動について、適切に説明している解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

- ・物の位置について、前置詞を用いて、様々な表現で説明する。
- ・人々の行動について、現在進行形を用いて、説明する。

PART B

出題のねらい▶ 図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に回答する力や、提示された情報をもとに「質問する」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」など、やり取りする力をみる。

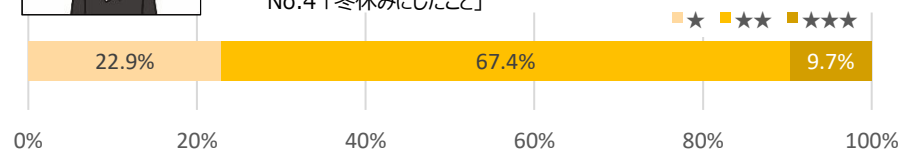


◇質問に回答する問題

- No.1 What do you want to be in the future?
- No.2 Which do you like to do, send emails or talk on the phone?
- No.3 Why do you think so?

◇質問する問題

No.4「冬休みにしたこと」



○「★★★」では、全ての問題に適切に解答しつつ、関連した情報も加えて答えている解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

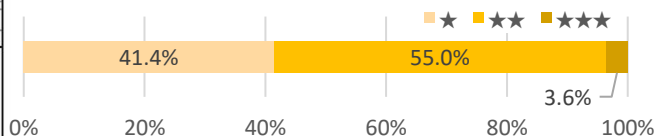
- ・様々な時制や疑問詞を使って、自分の考えやそう考える理由を加えながら、やり取りを行う。

PART D

出題のねらい▶ 日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力をみる。



◇問題 昨日の出来事を表す3枚のイラストについて、順番に説明する。



○「★★★」では、andやthenなどを使って、出来事の流れを意識しながら、イラスト全てを適切な表現で順序立てて説明している解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

- ・出来事の流れを意識し、適切な接続詞を使う。
- ・語彙を増やし、身近な過去の出来事を説明する。

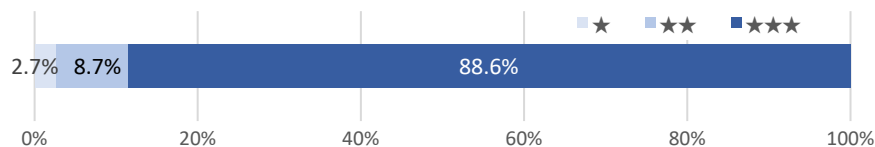
PART A

出題のねらい▶ 英文を読み上げる形式の問題で、英語音声の特徴を踏まえ音読できる力をみる。

◇ 問題 聞いている人に意味や内容が伝わるように、英文を声に出して読む。

No.1 Do you go to the library? Our library has many kinds of books. I usually go there every Wednesday. If you read books, you can learn many things. Reading books will also make your life more interesting. Please tell us about your favorite books.

No.2 Today, I will tell you about Helen. She is from London, and she will study at our school for one month. We will take classes together. She hopes to learn about Japanese history and culture. Why don't you ask her about life in the U.K.?



○ 「★★★」では、個々の語の発音や強勢（ストレス）が分かりやすく、読む速さや問の取り方が適切で、文章の意味を聞き手に十分伝えている解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（意識すべきこと）

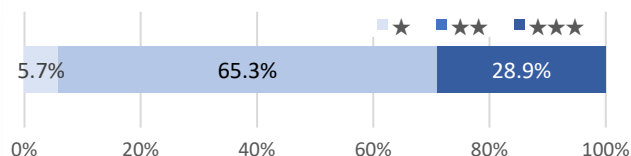
- ・複数の音節から成る語の強勢（ストレス）の位置（例：usually、interestingなど）
- ・発音しない字がある語（例：Wednesday）・複数形の語尾の発音（例：thingsなど）

PART C

出題のねらい▶ 日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力をみる。



◇ 問題 先週の出来事を表す4枚のイラストについて、順番にストーリーを説明する。



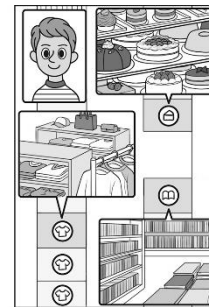
○ 「★★★」では、出来事の流れを示す語句（Then, After that, Soなど）を適切に使い、一連の出来事を順序立てて説明している解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

- ・出来事の流れを意識し、適切な接続詞を使う。
- ・語彙を増やし、身近な様々な出来事を説明する。

PART B

出題のねらい▶ 図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力や、提示された情報をもとに「質問する」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」など、やり取りする力をみる。

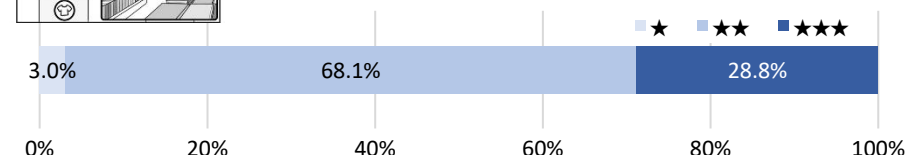


◇ 質問に応答する問題

- No.1 Where do you want to go?
- No.2 What would you like to do there?
- No.3 What do you usually do on Sunday?
- No.4 When did you start learning English?

◇ 質問する問題

- No.5 「今までに訪れた国の数」



○ 「★★★」では、全ての問題に適切に解答しつつ、関連した情報も加えて答えている解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

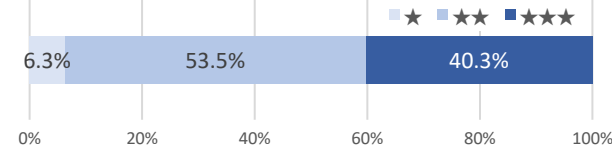
- ・様々な時制や疑問詞を使って、互いの考えや行動、経験などについて、やり取りを行う。

PART D

出題のねらい▶ 聞いたことについて、自分の意見と、その意見をサポートする理由や例を述べる力をみる。



◇ 問題 与えられたテーマについて、自分の意見や考えを述べる。



○ 「★★★」では、理由を述べる際に、I have two reasons. First, ... Second, ... のような定型文を使って分かりやすく内容を整理しながら説明している解答が見られた。

■ 授業改善に向けたポイント（取組例）

- ・根拠となる理由や具体的な事例を加える。
- ・与えられたテーマについて、客観的な視点を意識する。（例：「私たちの町をよりよくするための方法」）

6 令和7年度取組の方向性

- ポータルサイトの利便性の向上と機能の充実を図るとともに、動画やリーフレットなどを活用し、丁寧に情報提供を行う。
- よりよい実施・運営に向け、使用機器の品質管理や当日のオペレーションなど、事業者と緊密に連携して検証を行い、
不断の改善に努める。
- 生徒が、次の目標を意識しながら継続的に学習できるよう、教材等の更なる充実を図る。また、中学校等における授業改善に活用するための各種資料を充実させる。

7 今後のスケジュール

ESAT-J YEAR 1	ESAT-J YEAR 2	ESAT-J YEAR 3
5 月 令和6年度実施分の個人レポート公開 【令和7年度】 9 月 実施要項公表 2 月～3 月 各中学校において実施 (5 月 結果返却)		5 月 実施要項公表 6 月 中学校対象説明会 11月23日 本試験実施日 12月14日 追試験・再試験実施日（予備日） 1 月 結果返却